

Andreas Slominski
アンドレアス・スロミンスキー

GOOD LUCK



The Horse Shoe
2017, plastic, rivets, 215 x 138 x 26 cm
© Andreas Slominski
Installation view at Museum Jorn, Silkeborg
Photo: Robert Schlossnickel

各位

ワコウ・ワークス・オブ・アートではこの度2017年11月1日(水)から、ドイツのアーティスト、アンドレアス・スロミンスキーの個展を開催いたします。当画廊で4度目となる本個展は「GOOD LUCK」展と題し、アジア初公開となる全11点の作品を展示いたします。スロミンスキーは1959年に西ドイツのメッペンに生まれ、ベルリンとハンブルクを拠点に1980年代から彫刻作品やパフォーマンスの制作を続けています。ドイツ、フランス、イタリアなど、ヨーロッパを中心にこれまで数多くの主要な現代美術館で個展が開催されてきました。

2017年の新作で構成する本展覧会では、馬蹄や聖母子像などの、欧州の通俗的なラッキーチャームにまつわる題材を、トイレや水洗タンクに使われる簡素なポリエチレン製の素材でかたどった、立体的なレリーフ作品を展示します。「トイレ」は近年のスロミンスキーの作品で、象徴的に扱われている題材のひとつです。

今回展示する作品のタイトルには、それぞれ《The Horse Shoe》や《Good Luck》といった、世俗の迷信や俗言そして幸運と関わり深い言葉が用いられ、無味乾燥とした素材に不可思議な類推を呼び込んでいます。大型の作品には「扉」の形状が隠され、謎めいた佇まいと工業的な無機質さを同時に思わせませす。

代表的なシリーズ「Trap(罠)」や「Windmill(風車)」のように、歴史と日常にありふれた主題を扱うスロミンスキーの作品は、一見レディメイドやダダイズムとの単純な関係を想起させます。しかし慎重に選ばれたモチーフは謎掛けや隠喩に富み、意味を見出す/奪うという単純な駆け引きだけでは解決できない側面を作品にもたらしめています。哲学的な問いかけと無意味さの魅力が同居するスロミンスキーの最新作を、ぜひこの機会にご高覧下さい。

アンドレアス・スロミンスキー Andreas Slominski

1959年ドイツ・メッペン生まれ。1986年にハンブルク美術大学を卒業し、現在ベルリンとハンブルクを拠点に活動。2004年からハンブルク美術大学で教鞭を執っている。ヨーロッパを中心に、日用品を模した彫刻作品や思索的なギミックとハプニング性を伴うパフォーマンスなどの制作活動を続け、これまで個展が開催された主な美術館には、ハンブルク現代美術館、フランクフルト現代美術館(MMK)、ドイツ・グッゲンハイム美術館、クンストハレ・チューリッヒ、ボネファンテン美術館、プラハ財団美術館、などが挙げられる。1997年ミュンスター彫刻プロジェクト、2001年第1回横浜トリエンナーレ、2003年第50回ベネチア・ビエンナーレなど、国際展にも数多く参加。作品は主に、アントワープ美術館(SMAK)、MMK、FRAC、バーゼル市立美術館、ロサンゼルス現代美術館、グッゲンハイムコレクションなどに収蔵されている。本年6月にはデンマークのヨルン美術館で、北欧圏初めての個展が開催された。

会場：ワコウ・ワークス・オブ・アート
住所：東京都港区六本木6-6-9 ピラミデビル3F
T:03-6447-1820 F:03-6447-1822 M:info@wako-art.jp
(都営大江戸線/東京メトロ日比谷線 六本木駅 3番出口徒歩3分)
会期：2017年11月1日(水) - 12月2日(土) 11:00 - 19:00 日・月・祝休廊

【本リリースに関するお問い合わせ】

TEL : 03-6447-1820 FAX: 03-6447-1822 E-mail: info@wako-art.jp (担当:武笠)